

総合文化施設のプロポーザル方式による設計事業者選定についての意見

市政アドバイザー・平田オリザ氏の意見

- ★ホールは貸し館を中心にするのか、創造や発信、教育を中心とするのか、行政として示すべき。
- ★枚方は 40 万都市なので、単なる貸し館では意味がない。市民利用もあるが、巨大な公民館をつくる訳ではないので、明確な打ち出しが必要。
- ★「アウトリーチ」や「社会包摂」など、設計事業者が勉強しないと書き込めないことを示してはどうか。
- ★国の補助金をとるためには、施設に一定のクオリティ、機能がなければならない。補助金をとる覚悟があるかどうかは行政にとって大きな判断となる。
- ★大阪府内で劇場法に基づく補助金を受けている公共ホールは少なく、枚方にとってチャンスであり、財源確保や発信の面からも補助金をとりにいくべきである。

市議会の主な意見

- ★枚方市駅前再整備ビジョンとの整合性を十分図ってほしい。
- ★交通動線をしっかり考えてほしい。
- ★付帯民間施設の実現性の担保はどうなるのか。
- ★コスト縮減も大切だが、せっかく建てるのなら、専門家や利用者の意見も十分聞いて良いものにしてほしい。
- ★ホールの席数については、運営面も考えて十分精査してほしい。
- ★機能を絞り込むことが大事で、例えば、関西医大病院の駐車場を共用で活用するなど、周辺地域で「シェアする」考え方が大事ではないか。
- ★いま現在ではなく、20 年後を考えて整備してほしい。